

Flavour Point FP4-UC

取扱説明書



発行者情報

出版者

Schaerer AG, Postfach 336, Niedermattstrasse 3, CH-4528 Zuchwil

バージョン

02.2024

コンセプトおよび編集

Schaerer AG, Postfach 336, Niedermattstrasse 3b, CH-4528 Zuchwil

Copyright ©

Schaerer AG, Postfach 336, Niedermattstrasse 3b, CH-4528 Zuchwil

本書は著作権で保護されています。無断複写・転載を禁じます。Schaerer AG の書面による事前の許可なくして、本書の内容を複写、配布、電子的に転送することや、多言語に翻訳することは禁じられています。これは本書の全部または一部に対して適用します。本書の内容は、印刷時に利用可能な最新データによるものです。Schaerer AG は事前の予告なしに変更を行う権利を有します。本書中のすべての図、図解や表示メッセージは例です！幅広いオプションにより、お使いの機械が本書に示された機械と異なる可能性があります。Schaerer AG の責任は、ドイツ語版の原文に限るものとします。

目次

1	安全	4
1.1	記号とマーク	4
1.2	適切な用途	5
1.3	予見可能な誤使用	6
1.4	残留リスク	6
1.5	使用会社の義務	7
1.6	物損の危険	8
2	テクニカルデータ	9
2.1	マシンデータ	9
2.2	設置場所での電源接続	9
2.3	定格銘板	10
2.4	適合宣言書	10
2.4.1	適用規格	10
2.4.2	製造者住所	12
3	製品の説明	13
3.1	概要	13
4	取付けと試運転	15
4.1	Flavour Pointのスイッチオン	15
4.2	Flavour Pointの充填	16
5	クリーニング	17
5.1	HACCP洗浄コンセプト	17
5.2	クリーニング間隔	17
5.3	Flavour Pointの洗浄	18
6	障害の除去	19
7	アンインストール	20
8	廃棄	21

1 安全

1.1 記号とマーク

安全に関する注意事項



危険

死亡事故や重傷を負うおそれのある非常に危険な状況を示しています

この危険を防止するために、以下に記載された指示に必ず従ってください。



警告

重傷を負う可能性がある一般的に危険な状況

この危険を防止するために、以下に記載された指示に必ず従ってください。



注意

軽傷を負う可能性のある一般的に危険な状況

この危険を防止するために、以下に記載された指示に必ず従ってください。



注記

コーヒーマシンおよび/または周辺機器への物的損傷につながるおそれのある状況を示しています。

危険回避のため、記載された指示に必ず従ってください。

使用される警告記号

危険や指示に関するシンボルは、取扱説明書にもマシン本体にも使用されています。

記号	危険のタイプ	記号	危険のタイプ
	高温液体に対する警告		高温表面に対する警告
	高温蒸気に対する警告		危険な電圧に対する警告
	有害物質に対する警告		手指の怪我に対する警告

使用される禁止記号

記号	意味	記号	意味
	文書をよくお読みください！		保護手袋を着用してください！

記号	意味	記号	意味
	保護メガネを着用してください！		手を洗ってください！
	電源プラグを抜いてください！		

本書内のマークについて

マーク	意味	マーク	意味
■	順不同で掲載	✓	アクションステップの結果
(1)	キャプション、図内のアイテム番号	[ボタン]	表示および操作要素
1.	詳細な手順説明	「メ ニュー」	画面上のメニュー

1.2 適切な用途

周辺機器Flavour Point UCは、様々な種類のフレーバーからシロップを混合してコーヒーに香りをつけます。マシンは、（ユーザーがアクセスできないように）コーヒーマシンの下に設置してカウンター下ソリューションとして使用することができます。

このマシンは、商用利用としてもまたホテル業界、飲食業界、または同様の場所での使用も目的としています。責任ある人物がこのマシンを使用中の現場にいる場合には、セルフサービスの場所に設置することが許されます。このマシンは、店舗、オフィス、または同様の作業環境、ホテル、モーテル、ペンションで使用できます。

ご使用にあたっては、付属の取扱説明書の記載内容に従ってください。本機を他の目的で、または指定以上の方法でご使用になった場合、不適切な使用が行われたものとみなされます。これが原因で発生した損害に関してはメーカーは責任を負いかねます。

このマシンは、8 歳以上の子供や、身体的、感覚的または精神的能力が低下した人、または経験や知識が不足している人でも使用できますが、その場合、監督するか、またはマシンの安全な使用を指導し、その結果生じる危険を理解させる必要があります。子供たちがマシンで遊ばないようにしてください。クリーニングとユーザーによるメンテナンスは、監督なしに子供に行わせることはできません。クリーニングとユーザーメンテナンスは、特に安全および衛生に関して、知識と機器の実務経験を持つ人のみが行うことができます。



マシンの使用には、Schaerer AGの一般利用規約およびこれらの操作手順も適用されます。本機を他の目的で、または指定以上の方法でご使用になった場合、不適切な使用が行われたものとみなされます。これが原因で発生した損害に関してはメーカーは責任を負いかねます。

1.3 予見可能な誤使用



警告

誤用による危険!

適切な用途以外の使用やその他の使用で行なわれる周辺機器Flavour Pointの利用は、すべて誤用とみなされ、危険な状況につながる可能性があります。

- ▶ 使用し始める前に、取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ 一ヒーマシンのサービスエリアへのアクセスは、資格のあるサービス技術者にのみ許可されています。
- ▶ クリーニングとユーザーメンテナンスは、特に安全および衛生に関して、知識と機器の実務経験を持つ人のみが行うことができます。
- ▶ セルフサービスモード作動中や運転中は、有資格者がマシンのモニタリングを行なうことが必要とされています。これにより、必要とされるメンテナンス措置の適切な実施が保証されます。
- ▶ 周辺機器Flavour Pointの安全装置には絶対に変更を加えないでください。
- ▶ 周辺機器Flavour Pointは、正常に機能し、損傷していない場合にのみ使用してください。

1.4 残留リスク

Schaerer AGの製品は最高の安全性を特徴としています。ただし、怪我や健康被害を防止するための以下の注意事項に従った場合にのみ、安全装置の効果が発揮されます。



この安全に関する注意事項は、Schaerer AGにお問い合わせいただくか、またはMediaPoolのポータル<Schaerer Coffee Link> (<https://login.coffeelink.schaerer.com/>) から直接ダウンロードしてください。

感電の危険



危険

感電による生命の危険!



電気機器を不適切に取り扱くと、感電のおそれがあります。生命への危険があります。

- ▶ 電気機器での作業は、必ず電気の特 門家のみが行う必要があります。
- ▶ 機器を保護回路に接続してください (推奨事項: 残留電流回路ブレーカーを介して接続を行います)。
- ▶ 該当の低電圧指針および/もしくは各国および現地の安全規則および規定に注意してください。
- ▶ 規定に基づき設置を行い、感電を防止してください。
- ▶ 本機の定格銘板の仕様に対応した電圧であることを確認してください。
- ▶ 電圧の流れているパーツには絶対に触らないでください。
- ▶ メンテナンス作業を実行する前には、必ずメインスイッチを切るかマシンを電源から外してください。
- ▶ 本機のすべての極が主電源から切断できることを確認してください。切断された接続は、機器の場所から常に見える必要があり、ロックによって切断を確保する必要があります。
- ▶ 接続ケーブル交換は必ず資格を有するサービス技術者に依頼してください。

洗剤による危険



洗剤使用前には、パッケージの情報によく目を通してください。安全データシートが添付されていない場合、販売会社に請求することができます(洗剤のパッケージを参照)。

**警告**

洗剤による中毒の危険！

洗剤を飲み込んだり、蒸気を吸い込んだりすると、中毒症状が発生するおそれがあります。

- ▶ 洗剤は子供や関係者以外の人物の手の届かない場所に置いてください。
- ▶ 洗剤を飲み込まないように注意してください。
- ▶ 洗剤は決してその他の化学物質と混合しないでください。
- ▶ 洗剤およびカルキ抜きはそれぞれ指定の用途にのみ使用してください(ラベルを参照)。
- ▶ 洗剤使用中は飲食をしないでください。
- ▶ 洗剤使用中はしっかりと換気が行われていることに注意してください。
- ▶ 洗剤使用中は保護手袋を着用してください。
- ▶ カルキ除去剤の使用中は、保護メガネを着用してください。
- ▶ 洗剤使用後はすぐに丁寧に手を洗ってください。

緊急連絡先: 洗剤メーカー (洗剤のラベルを参照) に緊急時の連絡先電話番号 (毒物に関する情報センター) を尋ねます。国内にそのような機関がない場合、以下の表を参照してください。

スイス毒物情報センター	
スイス国外からの電話	+41 44251 51 51
スイス国内からの電話	145
インターネット	www.toxi.ch

アレルギーによる危険

**注意**

添加物による健康被害!

添加物 (またはその残り) が飲料にあると、アレルギーを引き起こす可能性があります。健康被害があります。

- ▶ 使用された追加製品がアレルギーを引き起こす可能性があることを作業者に通知してください。

1.5 使用会社の義務

マシンの使用会社は、Schaerer AGサービスパートナー、委託業者もしくはその他の認可された人物による安全装置の定期的なメンテナンスおよび点検を行う義務があるものとします。欠陥については、30 日以内に書面で Schaerer AG にクレームとして報告すること! 後から欠陥が見つかった場合には、この期間が取付けから 12 カ月以内 (作業レポート、納入記録) となるものの、遅くともツッフヴィルの工場から発送されてから 18 カ月以内とします。



メンテナンス間隔の詳細については、Siehe „メンテナンス“の章を参照してください。

1.6 物損の危険



注記

周辺機器Flavour Pointの不適切な取り扱いによる物的損傷

周辺機器Flavour Pointを不適切に取り扱うことで、物的損傷や汚れにつながるおそれがあります。

- ▶ 障害が発生した場合は、「障害」の章を確認し、必要に応じて資格のあるサービス技術者に連絡してください。
- ▶ Schaefer AGの純正交換パーツのみを使用してください。
- ▶ 目に見える損傷や漏れは直ちにサービスパートナーに報告し、該当の部品の交換もしくは修理を依頼してください。
- ▶ 機器に水をかけたり、スチームクリーナーで洗わないでください。
- ▶ 水がかかる可能性がある場所に機器を設置しないでください。

2 テクニカルデータ

2.1 マシンデータ

テクニカルデータ	
定格出力*	8 W (2023年12月までのマシンには20 W)
電流接続、現場	電源プラグ
ブレーカー、現場	1 x 10 ~ 30A
ブレーカー、内部	6.3 AT
制御接続	CAN Mini-DIN 6極
周辺温度	+10 °C ~ +40 °C
容量	
シロップの容量	4 x 1リットル
外寸	
幅	218 mm
高さ	488 mm
奥行	326 mm
重量	
空重量	10.4 kg
音圧	
連続音圧レベル	<70 dB(A)**

仕様は変更される場合があります。

* 特別仕様については定格銘板を参照してください。指定された値は、標準仕様に対応しています。

** * A 特性音圧レベル (遅い動特性) および Lpa (パルス) はいかなる操作モードにおいてもオペレーターの作業場所にて 70 dB (A) を超えないものとします。

2.2 設置場所での電源接続

電源	電源仕様		建物側の保護		接続ケーブルの断面積
1/N/PE	220 ~ 240 V	50/60 Hz	20 W	最大16 A	最小3 x 0.75 mm ²

電源	電源仕様			建物側の保護	接続ケーブルの断面積
1/N/PE	100 ~ 240 V	50/60 Hz	7.5 ~ 8.5 W	最大16 A (EU) 最大20 A (USA/CAN)	最小3 x 0.75 mm ²

2.3 定格銘板

型式	モデル
Flavour Point	FP4-UC

定格銘板はマシンの裏側に取り付けられています。



図: EU定格銘板

推奨情報:

- マシンタイプ > [FP4-UC]
- 定格出力 > 例 20 W
- 定格電圧 > 例 220 ~ 240 V
- 現場でのブレーカー設定 > 例 最大16A
- シリアル番号 > [JJKW XXXXXX] > 例 1935 XXXXXX

2.4 適合宣言書

2.4.1 適用規格

上記のメーカーは、このマシンが EC 指令に関連する全ての規定に適合していることを宣言します。申し合わせなく装置を改造した場合、この宣言は無効となります。次の整合規格が適用されています。要求事項を適切に処理するために、DNV GL - Business Assurance ISO 9001:2015 ISO 14001:2015 ISO 45001:2018 認証の品質マネジメントシステムが適用されます。本適合宣言の発行に対する責任は、メーカーのみが負います。上記の宣言の対象物は、2011年6月8日の欧州議会および欧州理事会による、電気・電子機器における危険物質の使用規制に関する指令 2011/65/EC の規定に準拠しています。

CE適合用

MD 2006/42/EC

- EN 60335-1:2020-08 +A11 +AC
- EN 60335-2-75:2010-11 +A1 +A11 +A12 +A2
- EN 62233:2008

EMC指令 2014/30/EU

- EN 55014-1:2018-08 +A1 +A2
- EN 55014-2:2016-01 +A1 +A2 +AC
- EN 55014-2:2016-01 +A1 +A2 +AC
- EN 61000-3-11:2021-03

RoHS 指令 2011/65/EU

- EN IEC 63000:2019-05

RED 2014/53/EU

- EN 301 489-1 V2.1.1:2017
- EN 301 489-7 V1.3.1:2005
- EN 301 489-24 V1.5.1:2010

欧州指令および規則を遵守するために

WEEE-指令 2012/19/EU

POP規制 2019/1021

EU化学物質規制に対して

REACH規則 1907/2006/EC

国際認証 (CB)

安全性

- IEC 60335-1:2020-08
- IEC 60335-2-75
- BS EN 62233:2008
- UL197
- CSA C22.2 No.109

EMC

- CISPR 14-1
- CISPR 14-2
- IEC 61000-3-2
- IEC 61000-3-11
- NSF / ANSI 372
- NSF / ANSI 4

CB スキーム >試験報告書と証明書の相互承認の国際システム

CE 欧州共同体の調和法の要件

CISPR 電波干渉に関する国際特別委員会

EG/EU 欧州共同体は、EC/CFSP/PJCCからなる欧州連合の一部である。

EMC 電磁両立性

IEC 電気機器およびコンポーネントの国際適合性評価システム

MD 機械指令 (欧州議会および理事会)

POP 残留性有機汚染物質に関する規則 (EU)

REACH 化学物質の登録、評価、認可、制限に関する欧州化学物質規制

RED 無線機器および受信機 (無線通信) の欧州承認指令

RoHS 有害物質の制限

WEEE 電気および電子機器の廃棄物 > 電気および電子機器からの廃棄物の回避と削減

NSF 国立公衆衛生財団製品検査、点検、認証団体

UL 米国保険業者安全試験所米国市場に対する製品安全の基準

CSA カナダ規格協会
ANSI 米国国家規格協会

2.4.2 製造者住所

製造者	ドキュメントの責任者
Schaerer AG P.O. Box 336 Niedermattstrasse 3b CH-4528 Zuchwil T +41 32 681 62 00 F +41 32 681 64 04	Schaerer AG 製品のケアおよび管理システム P.O. Box 336 Niedermattstrasse 3b CH-4528 Zuchwil

3 製品の説明

3.1 概要



図: コーヒーマシンの概要

番号	名称	説明
1	ホースアダプタ (lug&Clean)	シロップボトルに接続するホースのアダプタ
2	穴あきの密閉栓	密閉栓は、意図せぬ液体の流出を防ぎます。
3	ホース末端	ホース末端は、コーヒーマシンのホースアダプタに接続されます。この接続によってシロップの供給ができるようになります。
4	トグルスイッチによる電源接続	マシンとのスイッチのオン/オフを行なう別個のトグルスイッチによるシロップモジュールによる電流供給

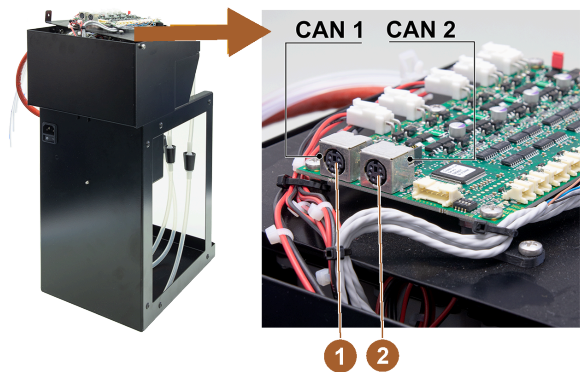


図: CANバス接続

番号	名称	説明
1	CANバス1	コーヒーマシンとシロップステーション間の通信インターフェース

番号	名称	説明
2	CANバス2	コーヒーマシンとその他の周辺機器（例 ミルクシステム）間の通信インターフェース

4 取付けと試運転

4.1 Flavour Pointのスイッチオン



図: 電源スイッチ

1. 設置面は、Flavour Pointの重量で変形しないように、安定した水平および平坦な状態であることを確認してください。
2. コーヒーマシンをオフにします。
3. Flavour Pointからのシロップホース端を、コーヒーマシン側の所定のシロップホースカップリングに接続します。
4. 制御ケーブルCANバス1をコーヒーマシンと接続します。
5. 制御ケーブルCANバス2周辺機器（例 ミルクシステム）と接続します。
6. 電源プラグを電源に接続します。
7. トグルスイッチを「I」の位置に切り替えます。
✓ 「I」の位置 = Flavour Pointがオンになっています。
8. コーヒーマシンをオンにします。
✓ Flavour Pointはこうしてコーヒーマシンに接続します。
9. コーヒーマシンのコミッショニング ルーチンを始めてください。



運転開始の手順の詳細については、それぞれのコーヒーマシンの取扱説明書をご覧ください。

4.2 Flavour Pointの充填



注意

健康上の危険！

- ▶ Flavour Pointでの飲用および使用に適した製品のみを使ってください。
- ▶ Flavour Pointは、シロップとこれに対応する内容物を適切なボトルに準備するためにもっぱら使用されます。
- ▶ 冷まさなくてはならない液体は、使用しないでください。

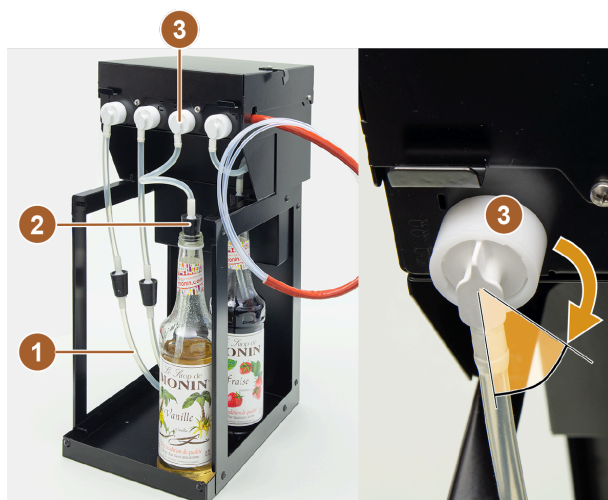


図: Flavour Point部品の名称

1. シロップボトルをフレイバーポイントに取り付けてください。
2. ボトルの蓋を外して、栓 [2] の付いたホース [1] をボトルに入れます。
3. 栓 [2] をしっかりとボトルに押し込みます。
4. ホース用アダプター (Plug & Cleanアダプター) [3] をFlavour Pointに差し込み、パヨネットロックを右に回してロックします。
5. すべてのシロップボトルについて上記の手順を繰り返します。

5 クリーニング

5.1 HACCP洗浄コンセプト



注意

健康上の危険/衛生

各ボトルやFlavour Point全体を長期間使わない場合には、細菌が増殖しシロップが乾いてこびりつく可能性があります。

- ▶ 数日間マシンを停止する前後には、洗浄を行ってください。
- ▶ コーヒーマシンの洗浄説明書も参考にしてください。
- ▶ ホースは、定期的に交換してください。
- ▶ すべての衛生に関する注意事項をよくお読みください。
- ▶ HACCP洗浄計画に従ってください。

すべての洗剤類は洗浄プログラムで完全に調整されています。

HACCP: ハザード分析の重要管理点

HACCPクリーニングコンセプトは、安全な食品を確保するためのものです。食品の加工または完成品から発生する危険性が考慮され、リスクが評価されます。適切な対策を講じることでリスクを軽減します。

取り付け、メンテナンス、手入れ、そしてクリーニングが適切に行われている場合、Schaerer AGの周辺機器はHACCP要件を満たしています。

5.2 クリーニング間隔

毎日 ¹	週1回 ²	必要に応じて ³	オプション
自動クリーニング			
x			自動すぎ (プログラムされている場合)
クリーニングプログラム			
	x	O	ボトルを交換する際のFlavour Point (シロップシステム)
手動クリーニング作業			
		O	周辺機器のクリーニング

1 最低でも1日に1回、必要に応じてより頻繁に行うこと

2 最低でも週1回、必要であればより頻繁に行うこと

3 汚れがある場合に行うこと

設定されたクリーニングスケジュールに応じて、ディスプレイガイドによるクリーニングプログラムが実行されます。また、追加のクリーニングにより、いつでも手動で行うことができます。

5.3 Flavour Pointの洗浄

コーヒーマシンの問題のない運転と、最適な飲料品質のためには、定期的な洗浄が必須要件です。



注記

不適切な清掃による損傷

クリーニングの際には、引っ掻き傷や擦り傷が発生する可能性があります。

- ▶ クリーニングには、クレンザーや同様のものを使用しないでください。
- ▶ 先の尖った洗浄器具を使用しないでください。外側を洗浄するには冷たいかぬるい水で十分です。必要に応じて一般に販売されている洗剤を使うことができます。
- ▶ 柔らかい布を使用してください。
- ▶ 長期間運転を休止する前に機器の内側をクリーニングしてください。
- ▶ ウォータージェットを使用して機器を洗浄してはいけません。



図: Flavour Point の洗浄

クリーニングプログラム実施前に揃えておく必要な道具:

- クリーニングコンテナ
- 清潔で湿った布 (クリーニングラグ)

洗浄は、Schaerer AGのコーヒーマシンを接続した状態で行なわれます。コーヒーマシンのタッチスクリーン上でクリーニングプログラムがスタートします。

1. 表示された指示に従ってください。
2. 機器の外側は湿った布で拭きます。その後、きめ細かいウールの布がバックスキンで機器を拭いて乾かします。
3. 洗浄 (衛生) には熱湯のみを使用して、洗剤は使わないでください。

6 障害の除去

エラーパターン	対処
コーヒーマシンがFlavour Pointを検出しません。	▶ 検査：マシンのスイッチは入っていますか？ ▶ 検査：電源プラグは差し込まれていますか？ ▶ 検査：現場のブレーカーは故障していませんか？ ▶ 検査：コーヒーマシンへのCANノード接続
空のメッセージが伝えられません。	▶ 検査：コーヒーマシンへのCANノード接続

7 アンインストール

使用終了後

機器が耐用年数に達した後、コーヒーマシンを分解し、環境に配慮した方法で廃棄してください。

8 廃棄



マシンは必ず現地の法規制に従い、適切に廃棄してください。

- ▶ サービスパートナーまでお問い合わせください。

引き取りまたは廃棄に関する合意がない場合は、分解された部品は再利用(リサイクル)してください。

- ▶ 金属はスクラップとして廃棄してください。
- ▶ プラスチック製エレメントはリサイクルしてください。
- ▶ 残りのコンポーネントを原材料に基づき廃棄処分してください。